

# 平成29年度第1回境港市男女共同参画推進審議会 会議録

## 次 第

■ 日 時：平成29年5月23日（火）14：00～15：54

■ 場 所：境港市役所 第1会議室

■ 日 程

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 事

(1) 平成29年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュールについて（資料1）

(2) 平成29年度境港市男女共同参画施策推進事業（資料2）

(3) 「男女共同参画推進計画」と「女性活躍推進計画」を一体化した計画策定に関する資料について

・「女性活躍推進法」の概要等《抜粋》（資料3）

・「女性活躍推進法」に関する地方公共団体向けFAQ《抜粋》（資料4）

・「第4次鳥取県男女共同参画計画」及び「鳥取県女性活躍推進計画」

・第3次鳥取市男女共同参画かがやきプランの体系図（資料5）

(4) 男女共同参画に関する市民意識調査について

・市民意識調査項目について（資料6）

・第3次男女共同参画推進計画《女（ひと）と男（ひと）とのいきいきプラン》の体系図（資料7）

### 4 そ の 他

・次回日程について

### 5 閉 会

■ 出席者（敬称略）

高木 敏行、渡部 斗支子、片山 彦志、入江 和行、松本 町子、佐古 廣  
岩間 悦子 （7人）

■ 欠席者（敬称略）

澁谷 博子、白井 靖二、金津 唯可 （3人）

## ■ 会議録

### 1 開 会

地域振興課長 定刻より若干早いですが、皆様お揃いになりましたのでこれより平成29年度第1回境港市男女共同参画推進審議会を開会いたします。本日はお忙しい中、ご出席いただき誠に有難うございます。

私は4月より地域振興課長を命ぜられました、沼倉加奈子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日の進行を努めさせていただきます。

本日は、ご都合により白井委員様よりご欠席の連絡をいただいております。澁谷委員様、金津委員様は、まだお見えでないようですが、委員の半数以上の出席により、この会は成立いたしますので、会長のご判断により進めさせていただきますと存じます。

最初に資料の確認をさせていただければと存じます。あらかじめお送りさせていただいておりますが、次第と委員名簿、資料が1から7まで番号をふったものを用意させていただいております。もしお手元がない場合は、こちらに余部がございます。よろしいでしょうか。それでは、これからの進行は会長にお願いしたいと存じます。高木会長、どうぞよろしくお願いいたします。

### 2 会長あいさつ

会 長 委員の皆様方には、大変お忙しいところご出席賜りまして、有難うございます。本日は議事が大きく4つございます。スムーズに進行いたしますことをお願い申し上げまして、あいさつに代えさせていただきますと存じます。

よろしくお願いいたします。

### 3 議 事

- (1) 平成29年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュールについて
- (2) 平成29年度境港市男女共同参画施策推進事業

会 長 それでは、日程に従いまして、議事(1)平成29年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュールについて、(2)平成29年度境港市男女共同参画施策推進事業を、一括議題といたします。事務局から説明をお願いします。

人権政策室長

- (1) 平成29年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュールについて  
《 資料1を説明 》
- (2) 平成29年度境港市男女共同参画施策推進事業  
《 資料2を説明 》

会 長        それでは、ただ今の説明につきましてご質問のある方は挙手をお願いします。

委 員        スケジュール等の資料を送付していただきましたが、質問等がある場合、今日は無理ですか。

人権政策室長    後ほど（資料6）の市民意識調査項目を説明させていただきますので、その時に合わせてご質問をいただいてもよろしいでしょうか。

委 員        わかりました。

会 長        それでは他に意見等ございませんでしたら、議事（1）平成29年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュールについて、（2）平成29年度境港市男女共同参画施策推進事業については、以上といたします。よろしいでしょうか。

委 員        （ 「はい」と呼ぶ者あり ）

（3）「男女共同参画推進計画」と「女性活躍推進計画」を一体化した計画策定に関する資料について

会 長        有難うございます。次に、議事（3）「男女共同参画推進計画」と「女性活躍推進計画」を一体化した計画策定に関する資料について、事務局からの説明をお願いします。

人権政策室長

（3）「男女共同参画推進計画」と「女性活躍推進計画」を一体化した計画策定に関する資料について

《 資料3～資料5を説明 》

会 長        それでは、ただ今の説明につきましてご質問のある方は挙手をお願いします。

地域振興課長    よろしいでしょうか。かいつまんで説明させていただきますと、「男女共同参画推進計画」と「女性活躍推進計画」、それぞれつくらなければいけないのではなく、一体化となったものでもいいですよ。ただし、一体化としてつくるのであれば、これはこっちの計画と明示しなさいよと。県においては、それぞれの計画をつくっていますけれども、境港市は鳥取市みたいに一つのものとし、色分けをすると。男女共同参画推進計画のこの部分につきましては、女性活躍推進法に係るものです、鳥取方式でつくっていきませんか、という説明でございました。

いいや、一体化でなく別々につくらんといけんということであれば別ですが。



委員 ( 「はい」と呼ぶ者あり )

会長 そうしますと、18歳ということでもよろしく願いいたします。

人権政策室長

(4) 男女共同参画に関する市民意識調査について

《 資料6のうち(あなたご自身のこと、男女共同参画全般について等)を説明 》

会長 「Iあなたご自身のことについて」の性別で「その他」について。これは、つけないといけないでしょうか。

委員 私が知る限り、いわゆるこういうケースはないですよ。「その他」とすることで、混乱するのではないのでしょうか。いきなり「その他」とすると何だろうとなるのでは。本人も「その他」でいいのだろうか、他人がどうこういう問題ではないとは思いますが。意識が男性であるか女性であるかというのは、本人の意識の問題で、アンケートとしてはどうかと思いますね。

地域振興課長 私どももアンケートを取る機会も少ないですが、片山委員、こういった場合はいかがでしょうか。もしそういう方の場合、どちらにも丸をつけないという場合もあったりするのではないかと思います。

ご助言いただければと思いますが。

委員 助言を申し上げるほど経験があるわけではございませんが。実際にこれを取るか取らないかということは、普通のアンケートも含め、特に悩ましいところだなと思います。実際に当事者の方とか、関わった関係者の方に聞きますと、学校で言いますと1クラスに1人か2人の割合であるだろうと。特に学校レベルですと、本人自身もまだ成長過程ですので、その辺がぐらついていたりすることがあるのですが、何となく違うなと思う子はそれくらいいて、別のデータでいうと左利きくらいの割合だと。

知られてきたのも最近のことですし、言うとな「変だ、おかしいとか、いじめに合う」ということもあるので、決して口にしないということもあります。実際、周りにはいないように思うのですが、当事者はいる可能性があるという現実がお聞きするとあるという。ですから、自分の周りにいないからいない、というのではなくて、あったとしてもここでは言うことはないだろうという現実があります。

実際にアンケートを取ると、1男、2女というところで、空欄の場合があります。戸籍上は男なんですけど、自分はどう考えても女だということもありますし、その逆もあります。どちらでもない、という方も実はあるんだそうです。「その他」を書いてしまうと、多くの方は何だろうかと戸惑われるだけで、必

ずしもそれをすればいいのかということでもない。統計的に言いますとあると間違えないのですが、「あなたの性別をお書きください」と空欄にしておいたほうが、まだ書きやすいのではないかと思います。どうしても書きたくない人は書かれませんが、ご本人のお気持ちを最優先にした方が。どれが正解ということは正直ありません。私どももアンケートをやるたびに悩んでいるんです。

委員 戸籍とおっしゃいましたけれども、こういうケースが今後増えるのであれば、そういう時代が来るのかなと思ったりもしたんですが。アメリカには、こういうケースとか多いと思いますが、その辺の動きがどうなんでしょうかね、まだそこまでは。

委員 法的にどうするのかという議論はまだ進んではいませんが、そういう方がいるということで。それが、ご本人がそうであればいいのではないかと思います。皆さんの理解が進んでいければ差別も起きませんし、啓発といいますか、まずはわかっていただく、知っていただく、ということだと思います。

地域振興課長 そうしますと、丸ということではなくて、性別をお書きくださいというところで、何も考えずに男、女とか書かれる方や、自分の心の中でどちらでもないだとか、書かない、という意志表示もなさる方もいらっしゃるのではないかと思います。

委員 そもそも、何で聞くんだということも。

地域振興課長 そこです。

委員 現実問題アンケート調査ですし、性別による差別とか色々な問題がある中で、傾向として把握しておくために、書いて欲しいというところがあります。ご本人の意識の差が、大きく影響されると思いますね。やはり、聞かないことにはアンケートとしてはまとめにくいと思いますね。

地域振興課長 ここは、記入にさせていただくということで。

会長 よろしいでしょうか、記入ということで。

委員 性同一性障害の方で、戸籍上の問題は別として、自分は女として生まれてきているけれども、男だと思っていう方がいます。これは、1、2、3でもいいんですけれども、アンケートはなるべく簡潔に。第三者が、あんまり複雑に戸籍はどうなのかということまで考えるとね。

委員 今のお話を聞きますと、男と女だけでもいいのではないのでしょうか。人に

よっては、括弧書きも嫌ではないでしょうか。

地域振興課長 後追いをすることができないので、男なのか女なのか、あるいは意志表示をしないという、どちらにも丸をつけないということが、その方の意志表示であるという考え方もあるんですが。岩間委員さんがおっしゃるように、いきなり「書き」から始まると。丸だったら書きやすいけれども、「書き」から始まるアンケートは、なかなか先に進まないかもしれません。

委員 アンケートを書くときに、1、2、3「その他」って何だってことになるのでは。

委員 確かに書きにくくなるので、書かない方も出てくるかもしれません。自分は戸籍上は女なんだけど、意識は男とはっきりした方もいらっしゃるんですが。はっきりしない方、それが無い方も含めて、どちらでもないという意識の方もいらっしゃるの、最初から書きようもないと。そういった時に、もちろんアンケートは調査ものですけど、書きようがないとその方にしてみれば、その時点で疎外された感覚を持たれるんです。そこは、アンケートの技術上とは別に気持ちの問題といたしますか。

会長 そうしますと、3番に何も書かない括弧の欄をつくるということですか。そこに本人に書いてもらうと。

委員 何人かとお話しさせていただく中で、全員の意見ではありませんが、それであれば明らかに自分達は排除されている感情が強いので、みんな一緒に書いてくださいのほうが、男の方であろうが女の方であろうが、そうでない方であろうが、みんな平等な感じがすると思います。男か女かその他か、どれか選べと言われれば、どっちでもないという感覚でとらえられてしまうのではないかと。なかなか難しいところであります。

委員 そうしますと、どちらでもない方は。

委員 書かれないと思いますね。時々あるのが、真ん中に丸をつけられる方がいらっしゃる。その時は未記入ではなく、どうするかということになります。

委員 アンケートですから、真ん中に丸をつけても体制に影響はないと思いますが、こういう方もおられるんだな、ということ。

会長 そうすれば、そういう方が意志表示をするところをどのようにしてあげるのか、ということだけを考えればいいということですよ。

委員 1男、2女、3その他、とあるので混乱してしまうわけですので。先ほどおっしゃられていたように、書きづらいという方には、3括弧、とすれば書く方は書かれるでしょうし。ですから、3をまるっきりなくさないほうがいいのかなと。ただ、「その他」というのではないほうがいいと思います。3で括弧としておくと、必要であればその人は書けるのではないのでしょうか。

会長 私もそのほうがいいと思うんですが。

委員 1クラスに1人と聞いて、そういう立場の方をなおざりには出来ない。そこでつまづくと、もう嫌になっちゃうでしょうし。もういやということになれば、アンケートとして成り立たない可能性もありますし、せっかくその千人に選ばれた方のデータが欲しいということであれば、3括弧で。

会長 よろしいでしょうか。

委員 括弧にしてあれば、自由に書いてくださいということになります。

委員 そうです、書きやすいと思います。

委員 平成25年の時は、なかったのですか。

人権政策室長 なかったです。

委員 その時に、丸がついてなかったとか、そういうことはあったのでしょうか。

地域振興課長 3ページにもLGBTについて知っていますかと聞くくらいですので、25年の時には、社会的にそういう意識がまだ薄かったのではないかなと思うんです。ここ数年で身体と心の性の違いとかが、世間的にといいますか、社会的に言われるようになってきましたので。

人権政策室長 平成24年度の市民意識調査結果報告において、390人の回答がありまして、男性、女性の回答だけで100パーセントとなっております。

地域振興課長 無記名がないということですね。

人権政策室長 はい。

委員 こういう話を聞いたときに思ったのですが、全体を見たときに個のものを引っ張り出すのもどうなのかなと。さっきの話でいけば、「その他」って何なのという話になると思います。ただ、あまりさわらないほうがいいと思いますが。

ただ、そこを考えれば、記名式ということも一つの方法かなと思います。

委員 3括弧でいいんじゃないですか。

会長 3括弧で。

地域振興課長 配慮を含めてということで、1男、2女、3括弧ということで。

委員 問い合わせもあるだろうと思いますよ。

会長 それはあると思います。

委員 そういう質問があったら、上手く答えてあげてください。

地域振興課長 はい。

会長 では、1男、2女、3括弧ということで。有難うございました。  
では、次に問5ですか。

人権政策室長 はい。

地域振興課長 全体的に7、8ページまでのところで、これまでの平成24年度に調査  
しました内容も含めてどうか、というところでございます。

会長 何か気づかれたことを、お聞かせいただけますか。

委員 質問の中に、「あなたの職業を教えてください」とあり、「1つ選んで番号に  
丸をつけてください」というのが、ずっとあるんですね。見てみると、1つ  
だけではない場合もあるんですよ。なぜ、1つに絞られたかということをお聞  
きしたい。それと、質問の中で「教えてください」というのが問いがあるん  
ですが、なぜそこだけがそうになっているのかをお聞きしたいと思います。

会長 どこになりますか。

委員 2ページの間8などです。「教えてください」という表現がちょっとどう  
かと。

地域振興課長 「お聞きします」という聞き方で。

委員 そうされたほうが良いと思いました。

地域振興課長 はい。

委員 「1つ」とした根拠を教えてください。1つではなく、3つもありそうなものもあるのにな、と思ひまして。

地域振興課長 問3とか問6のところですよ。

人権政策室長 前回、平成24年度の調査と同様にしております。そのときの審議会の中でも、委員の皆様からなぜ1つなのかというご質問がありました。その時の事務局の回答が、他の市町村を参考に1つにしたということでしたので、今回もそれを参考にしております。

また、関連しまして最後のほうで、「5つ選んでください」という質問がありますので、5つに限定してよいものなのか、全部なのかというところの考え方について、委員の皆様にご協議いただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

委員 「5つ」というところを見て、確かに5つくらいはあるなと思ひました。

会長 そうしますと、「1つ」というところはどうでしょうか。皆さんご意見を。

委員 1つ質問を。問3の職業のところ、「家事専業」というものがありますが、どういう意味ですか。

人権政策室長 これも前回の項目と同様に、そのまま載せました。

地域振興課長 これは今でいうと、「主婦、主夫」ということになるんですか。

委員 7番のところに「専業主婦」というのがありまして、どうなのかなと思ひまして。

地域振興課長 今は、フリーターという方もいらっしゃるのであれば、この「家事専業」というのが「専業主婦、主夫」であって、無職は本当の「無職」になるんでしょうか。

委員 これもつばら私たちの間で考えるところがあるんですが、専業主婦は「無職」なのか、ということに到達することになるんだと思ひます。ですから、「家事専業」のところに「専業主婦・主夫」などを括弧で持ってきて、全く何もしていない人、10代の人も含めればありかなと思ひますので。むしろ家事専業であれば家事も立派な仕事ですので、「専業主婦・主夫」などを、5番に持ってきて、6番の学生の下は無職は「無職」でいいのではないのでしょうか。

委員 確かにそのほうがいいでしょうね。10代が入るということになれば、当然「無職」も出てくるでしょうからね。

地域振興課長 問3と問6についても、ここの部分は「専業主婦・主夫」にさせていただいて、問7を「無職」のみにさせていただくと。「1つ」と限定させていただいている部分は、統計をとるにあたっての、性別、年代、職業、それからパートナーがいるかないかというところが、この働き方だとかというところのまず核となる部分になると思うので、複数回答にしていないものだと考えます。

ほかの考え方がどうかという部分については、多数、3なのか5なのかというところはありませんけれど、基礎の部分になってくるので、複数にさせていただいていないのが主ではないかと考えます。

委員 岩間委員から、「教えてください」という文言がどうなのか、という質問がありましたけれど。それを入れるのか入れないのかというところになれば、例えば、問6では「あなたの配偶者（パートナー）の職業を1つ選んで、番号に丸をつけてください。」とありますよね、ですから「教えてください」という文言を入れるのか入れないかを、まずは決めていかないといけないのでは。

ただ、問7の「あなたと同居している家族構成について1つ選んで」というのは、少しおかしいですね。「あなたと同居している家族構成を1つ選んで」ということですよ、これは。

委員 そうですね、「を」ですよ。

委員 「1つ選んで」という問いも、当然だということもあるんだと思います。1つと書いてあるところがみんないけない、というのではなく内容によっては1つでも当然だな、とも思ったりするところもあります。ただ、それをここでずっとしていくのは、時間がないと思うんです。全部の項目を見て、これは1つでいいとかこれはいくつかいるとか、やはり1つずつ点検をする必要があると思います。

地域振興課長 今日の内容の確認だけ決めていただいて、あとの書きぶりだとかというところは、改めて見ていただくということで。松本委員のほうからも言われたように、「教えてください」というところを省くのであれば、設問の聞き方、「てにをは」というところを変えさせていただいて、ということが考えられますが。「教えてください」という書きぶりにしないということで、よろしいでしょうか。

委員 ( 「はい」と呼ぶ者あり )

地域振興課長 はい。それでは後は表現を確認いただきます。

会 長 よろしくお願ひします。

地域振興課長 はい。それと、職業欄につきましては、「1つ」ということでよろしいでしょうか。それから先の部分は、「1つ」でない部分ももちろんありますけれども。「主に」と「パートナー」の職業につきましては、複数回答ではなくてよろしかったでしょうか。

委 員 色々な職業、1つではないんじゃないかという職業。例えば、農家で兼業している可能性もあるのかなと思ったのですが、その場合は世帯の主な収入となる場合はどっちか、ということで固定しておけばよいと思います。

地域振興課長 あなたの主となる職業を1つ選んで、ということ。

委 員 はい。

委員 家事専業のところの表現で「専業主婦」というのが抵抗がある。それはいらなと思う、無職は「無職」、そのままでもいいんじゃないかと思う。5番の「家事専業」に「専業主婦・主夫」を。

地域振興課長 はい。

会 長 3ページに進めさせてもらってよろしいでしょうか。

委 員 問8の書き方だと、小さい子どもさんばかりが中心のよう。その他が括弧になっているけれども、成人しているお子さんは、わざわざ書かないといけないようになるのでは、この書き方でいいんですか。

地域振興課長 子どもさんのことですね。

委 員 はい。就学前、小学生、中学生、高校生と段階で。この千人の中には、若い人ばかりではないかと思うんです。「その他」のところ、成人してないように書くのか、そこをもう少し。

地域振興課長 成人、18歳以上、とかですか。

委 員 そういう感じで。

地域振興課長 そこがもう少しあったほうがよいということですよ。

委 員 この質問の意味、何を聞くかということかと思うんですが。

人権政策室長 これも前回調査と同じ質問ではあるのですが、女性活躍に関連したり、育児が必要であるかに関連していく質問であると考えております。

委員 介護もありましたけれども、子どもと言っても70代以上の方が親で、40代、50代が子どもということになれば、その子どもも介護が必要になります。そこも聞くのかどうかということになるのでは。

地域振興課長 それ以上にするのかどうか、ここは検討します。

会長 はい。お願いします。1ページ、2ページはよろしいでしょうか。

委員 ( 「はい」と呼ぶ者あり )

会長 3ページ、4ページはどうでしょうか。

地域振興課長 ほかにこんなものがあるということであれば。皆様のほうが、お詳しいと思いますので。

委員 書きぶりとして、問9の17番にドメスティック・バイオレンスで、(DV)と書いてありますが。同じように書くのであれば、パワハラとかセクハラという部分をですね、セクシャル・ハラスメント(セクハラ)とか(パワハラ)とかにしたほうが。よく皆さんが耳にするのは、そちらのほうかもしれないと思います。DVと同じような書きぶりにしたほうがよいかと思います。

地域振興課長 はい。

会長 ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。

委員 ( 「はい」と呼ぶ者あり )

会長 そうしますと、5ページ、6ページはどうでしょうか。

地域振興課長 1つお聞きしたいのが、5ページの間12なんです。「1つ」というのが、前回も1つですが。どれが重要であるのかをお聞きするために1つにしたのではないかと思います。ここの部分が本当は、複数なのかなと思ったりもするのですが。皆様、どうお考えでしょうか。「1つ」とするのであれば、「特に」とか「1番」とか、という聞き方にしなければいけないのかと思うのですが。

皆様がご回答するにあたって、選びやすいかどうかということではないかということなんです。

委員 1番大事なことなんでしょうね。複数でもいいんじゃないでしょうか。

地域振興課長 やはり、5年前と今では社会的考え方だとか、周知の仕方、PRも含めそれぞれの認識の中に、「男女共同参画」男性と女性と同じ立場でというところが色々な意味で浸透してきていると思うので、こんなことも大事だし、あんなことも大事だしというように、以前よりも色々と頭の中で浮かんできている時代になっていると思うのですが、その中で「1つ」というのが、どうなのかと思うんです。

委員 数を限定しなくても複数回答でもいいのでは。そういうやり方もあるのではないか。

委員 集計結果を出す時の事務方の作業とか、結果を公表する際に難しい面が出るのでは。

地域振興課長 たぶん、この部分に関しては、「1つ」というほうが、パーセンテージは出しやすいと思うのですが。この項目に関しては、どの項目が重要と思っているかという集計は出せますので、数が10もあれば困りますけれども、「1つ」でなくてもどこに皆さんの意識が向いているのか、ということになると思います。

委員 複数回答可ということになると、人によって3つや5つ丸をすることになってしまうわけで。あるいは、10丸をする人がいるかもしれない。それはちょっとどうなのか、1つでなくても数の限定が必要ではないか。「どんなことが特に大切だと思いますか、3つ選んで」とか。

委員 回答で1人の意見だけでは、比重が大きくなるかもしれない。より多数の意見をとということであれば、ある程度はやはり。

委員 ある程度の要素があって、成り立つことではないか。

地域振興課長 前回は千人で調査させていただいて、回答が390人、約4割ですので。4割の方が自由になってしまうと、逆に焦点が絞りにくい面もあるのかなと思います。これは、男女お互いが補い合っているという認識を持つという3番が抜き出た形にはなっています。この時には、丸は3つあります。

委員 それくらいの要素は、いるんじゃないですか。「1つ」では、片付けられない気がします。

会長 では「1つ」を「3つ」でお願いします。6ページの間13はどうでしょう



委員　やはり境港は、境港独自の特色を持ったほうが良いと思います。

地域振興課長　ワーク・ライフ・バランスとは、という部分もありますし、言われたように書きやすさを求めたいと思います。

委員　ワーク・ライフ・バランスの聞き方としては、「理想と現実」を聞くということだと思います。書くほうとしては、現実はこちらだけ理想はこちら、というほうが書きやすいと思います。一週間の生活を考えるとこうだな、でも自分は本当はこうしたいなど。

委員　14ページのところ。誰に相談したか、という項目ですけれども。セクハラとか沢山あるんですが、もう少し簡潔にならないものかと。

地域振興課長　6の「配偶者や恋人等から受ける、暴力等について」というところですね。

委員　項目が多いと思ひまして。これがもう少しまとまるといいかなと。アンケートで思ひますのが、「子育て」についてがないので、質問項目に入れて欲しいなと思ひました。

地域振興課長　例えば、どのような。

委員　子育て支援が色々ありますよね。境港市の子育て支援はどうかとか、どういうことをして欲しいとか、適切な言葉は今は浮かんできませんが、どこかに何かありますか。見落としたかもしれませんが。

地域振興課長　子育て中の世代がどうか、という質問をしてからということですね。

委員　そうです。

委員　関連して。既存の境港市の子育ての関係で、推進計画とかアンケートがあれば、そういうものと組み合わせながらするというのも。たぶん県の計画も子育てとか介護とか組み合わせながらやっていると思います。幅が広がるというか、そういうやり方もあると思います。

委員　市のほうも過去に調査をされたりしているでしょうが、平成23年に女性団体連絡協議会が、市民に対してアンケートを取りました。見ていると同じような項目もありますし、大変難しいことですが、5年経って前にした意識調査が、どのように変わっているのかということを見る必要があると思ひます。例えば、条例が出来たことで、これが良くなったとか、変わらないとか。

そういうような追跡と言いますか、そういうのもあったらいいなと思います。  
女性団体連絡協議会の出しているアンケートは見られましたか。

人権政策室長 すみません。まだ見ておりません。

委員 今日あげますので、それを参考にさせていただけたらと思います。

人権政策室長 有難うございます。

委員 18ページ、問29ですが、男女共同参画社会を実現するために、境港市はどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか、の回答は5つまでとなっているんですが。必要と思われる事項は、アンケートとして書けばよいかなと思うんですが。

地域振興課長 それこそ、問27からが5つとなっており、どれも必要なものだと思うんですが。先ほどの丸がいくつまでが適当かというご意見もありましたが、「特に」というところのほうが、本当にどこに重点を置けばいいのかというところが、わかりやすい結果になっていくのではないかと思うところで、前回も5つとなっていたのをまとめてみた中で、やはり多数意見のところは固まりとしての結果が出てきているので、皆さんが意図的にここが大事なんだなというポイントが、絞られて表れてきているのではないかと思います。

委員 いずれにしても「5つ」ではなく「5つまで」ですから。人によっては、2つかも3つかもわからんですし、これは表現の違いですから。前回これでやっておられるんだったら、これでいいと私は思います。

委員 先ほど話にありましたが、男女共同参画ということになると、子育ての問題というのは、ないといけないんじゃないですかね。

委員 子育てが1番基本になる問題ですからね。これを避けることはあり得ないですから。

委員 子育ての問題は、職場にまで影響が出てくるわけですから、男女共同参画という考え方の中には、意見がなければいけないと。特に、若い方からの意見が必要ではないかと思います。

会長 是非、「子育て」のところを加えてあげてください。

地域振興課長 はい。

会 長 特に、境港市、行政も力を入れているところもありますしね。ほかにござい  
ませんか。

委 員 ( 「はい」と呼ぶ者あり )

会 長 ないようでしたら、議事の(4)男女共同参画に関する市民意識調査につい  
ての(資料6)は、以上といたします。先ほども言いましたが、またゆっくり  
見られて何か気づかれたことがありましたら電話で結構ですので、今月中に事  
務局まで連絡してあげてください。次に(資料7)について、事務局から説明  
をお願いします。

人権政策室長

(4) 男女共同参画に関する市民意識調査について  
《 資料7を説明 》

会 長 それでは、ただ今の説明につきましてご質問のある方は挙手をお願いします。  
ないようでしたら、次に進みたいと思います。次に4その他について、事務局  
から何かありますか。

#### 4 そ の 他

人権政策室長 そうしますと、4その他でございます。次回日程につきまして、早い時  
期に日程調整をさせていただきますが、第2回審議会を来年1月か2月に開催  
させていただきたいと思います。また、それまでにアンケートのことを含めて、  
たびたび文章なりの連絡はさせていただくということで。まだ先ではあります  
が、今一度、1月か2月にお集まりいただきたいと存じます。

委 員 アンケートはこういう形で行いますか。例えば、最初にお願いがあり、次に  
すぐにアンケートがありますが。調査の目的とか概要ですとかは、挙げられま  
せんか。

会 長 それは、表に書いてあるこれにはなりませんか。お願いとか色々書いてあり  
ますが。

委 員 調査の項目もページをめくらないとわからないですが、ページの項目があっ  
たほうが、見みやすいのではないかと思います。

会 長 その辺は事務局のほうで。

地域振興課長 はい、岩間委員のご意見は承知いたしました

委員 この中にきちんと入れて。

地域振興課長 はい、わかりました。

会長 よろしくお願ひします。

委員 ホームページで回答できるようにしますか。

地域振興課長 そうしますと無作為抽出ではなく、誰もが回答できるようになってしまいますので、その方達のパスワードをお渡しする等しないといけなくなってしまうので。

委員 そのほうも楽かもしれない。

地域振興課長 システムとかがあれば、集計も楽かもしれませんが。

人権政策室長 関連で、アンケートへの協力依頼を市報7月号に掲載することにしております。

地域振興課長 私どもからは以上でございますが、皆様から何かありますでしょうか。

## 5 閉 会

会長 よろしいでしょうか。そうしますと、ちょうど時間になりました。長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございますございました。本日の審議会は、これをもちまして終了させていただきたいと思ひます。

ご協力有難うございました。